

第 28 回日本内視鏡外科学会総会（28th JSES）のご案内

第 28 回日本内視鏡外科学会総会を以下の通り開催いたします。会員の皆様には多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

第 28 回日本内視鏡外科学会総会
会長 松田 公志

会 期：2015 年 12 月 10 日（木）～12 日（土）
（10 日朝からプログラム開始します）

会 場：大阪国際会議場
〒 530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51
リーガロイヤルホテル大阪
〒 530-0005 大阪市北区中之島 5-3-68

会 長：松田 公志（関西医科大学腎泌尿器外科学 教授）
プログラム委員会委員長：権 雅憲（関西医科大学外科学 教授）

総会テーマ：「技術革新と人の技の融合：内視鏡手術の飛躍に向けて」
“Merge Technological Innovation and Surgeons' Art”

◆会期当日のご案内◆

参加受付場所：
大阪国際会議場 5 階 メインホワイエ

参加受付時間：

	12 月 9 日（水）	12 月 10 日（木）	12 月 11 日（金）	12 月 12 日（土）
大阪国際会議場 5 階 メインホワイエ	13:00-20:00	7:00-20:00	7:00-20:00	7:00-17:00

参加費：

参加カテゴリー	参加費
医師（会員 / 非会員）	15,000 円
研修医・メディカルスタッフ	5,000 円
学部学生	無料 * 学生証を受付で提示してください
医工連携のみ参加	5,000 円

●参加登録は、当日の会場での受付のみとなります。（事前参加登録はございません）

●参加費はクレジットカードでもお支払いいただけます。VISA, Master Card, ダイナースクラブ, アメリカン・エクスプレス, JCB をご利用いただけます。

会員懇親会：

日時：2015 年 12 月 11 日（金）19：20～（予定）

場所：リーガロイヤルホテル大阪 光琳

Educational Lecture のご案内：

Educational Lecture 参加のための整理券を配布します。

チケットの配布時間と場所は以下の通りです。

日付	配布時間	配布場所
12 月 10 日（木）	7:00-11:30	大阪国際会議場 5 階 メインホワイエ
12 月 11 日（金）	7:00-11:30	
12 月 12 日（土）	7:00-11:30	

演者の先生方へ 発表データについて：

必ず PC 受付にて発表データの受付をお願いいたします。発表の 30 分前までに受付を済ませてください。午前 10 時までに発表のある方は、受付の混雑が予想されますので、できる限り前日までに受付を済ませてください。

日付	受付時間	受付場所
12 月 9 日（水）	13:00-20:00	大阪国際会議場 5 階 メインホワイエ
12 月 10 日（木）	7:00-17:00	
12 月 11 日（金）	7:00-18:30	
12 月 12 日（土）	7:00-17:00	

◆プログラム（予定）◆

1. 主要企画

<理事長講演>

北野 正剛（大分大学）

司会：北島 政樹（国際医療福祉大学）

<名誉理事長講演>

北島 政樹（国際医療福祉大学）

司会：松本 純夫（国立病院機構東京医療センター 名誉院長）

<基調講演>

大島 伸一（国立長寿医療研究センター 名誉総長）

司会：村井 勝（慶應義塾大学 名誉教授，国際親善総合病院 名誉病院長）

<会長講演>

松田 公志（関西医科大学腎泌尿器外科）

司会：岩中 督（埼玉県立小児医療センター）

<大上賞記念講演>

井上 晴洋（昭和大学江東豊洲病院消化器センター）

司会：幕内 博康（東海大学医学部附属病院本部）

<男女共同参画セミナー>

上田 真喜子（森ノ宮医療大学大学院，大阪市立大学 名誉教授）

河野 恵美子（地域医療機能推進機構大阪病院外科）

須賀 真美（愛媛県立中央病院産婦人科）

滝澤 奈恵（関西医科大学腎泌尿器外科）

司会：北出 真理（順天堂大学医学部附属順天堂医院産科・婦人科）

渡邊 昌彦（北里大学外科）

《医工連携プログラム》

企画1：学術プログラム「日本の未来のための医工連携：内視鏡外科で何ができるか」

日時：2015年12月11日（金）予定

座長：森川 利昭（東京慈恵会医科大学外科学講座呼吸器／乳腺・内分泌分野，
日本内視鏡外科学会医工学連携委員会委員長）

谷下 一夫（早稲田大学ナノ理工学研究機構）

演者：官 関 総一郎（経済産業省近畿経済産業局局長）

医）鈴木 裕（国際医療福祉大学病院外科，28回総会医工連携企画実行委員長）

工）前田 太郎（大阪大学大学院情報科学研究科 バイオ情報工学専攻人間情報工学講座）

企画2：展示企画，ブースツアー

・企画2-A 医工連携展示

外科分野・内視鏡外科分野において，医療現場の課題解決に資する医療機器の開発・改良に繋がるソリューションを提案する企業の展示を行います。内視鏡外科分野において『新製品を開発するためのシーズを探したい』、『医療現場の課題やニーズを直接掴みたい』等の強い意欲を持つ企業が多数出展予定です。

日時：2015年12月10日（木）～12日（土）

会場：大阪国際会議場3階ロビー

予定企業数：30～40社程度

参加方法：当日お気軽にお越しください。

・企画2-B ブースツアー

日本内視鏡外科学会初の試みとして，医工連携展示企業を対象とする「ブースツアー」を行います。ブースツアーとは，医療機器開発に実績のある医師が「ツアコン」となり，自分のアイデアを実現してくれそうな企業を探している医師や，面白い新技術を持った企業を探している医師を複数連れて，展示ブースをラウンドするというものです。

ツアコンからは，知財に関する注意事項，出展内容の分かりやすい説明，医工連携の進め方等の話を聞くことができます。また，本展示を通して何か思いついた場合は，無料の知的財産相談会をご利用

用いただけます。医療機器開発に興味のある方は、是非ご参加ください。

日時：2015 年 12 月 10 日（木）・12 月 12 日（土）予定

会場：大阪国際会議場 3 階ロビー

オーガナイザー：中島 清一（実行副委員長，大阪大学次世代内視鏡治療学）

ツアコンリーダー：杉本 真樹（神戸大学消化器内科）

瀧口 修司（大阪大学消化器外科）

松田 年（神楽坂 DS マイクリニック外科）

参加方法：学会ホームページよりお申込みください。

企画 3：医工連携 特設会場プログラム

日時：2015 年 12 月 10 日（木）・12 日（土）

内容：・企業によるシーズ発表

・知的財産ビデオ放映

・公的資金に関する講演「研究開発資金はこう取る」

会場：大阪国際会議場 3 階展示スペース中央

参加方法：事前申し込みは不要です。当日お気軽にお越しください

企画 4：知的財産相談会

医工連携、産学連携においてきわめて重要な要素である特許、意匠、著作権などの「知的財産」に関し、無料で個別の相談に応じます。経験豊富な弁理士、弁護士の先生方に多数ご協力いただく予定です。「自分のアイデアを特許にするのはどのような手続きが必要なのだろう？」、「企業にどこまで話しても良いものだろうか？」等、知的財産に関する悩みや疑問を専門家に相談できる絶好のチャンスです。ぜひご活用下さい。

会場：大阪国際会議場 3 階展示スペース

日時：2015 年 12 月 10 日（木）・12 日（土）予定

相談料：無料

相談時間：1 人につき 30 分

その他：・本相談会は予約制です。学会ホームページの申込フォームより、予約をお願いいたします。

- ・相談担当弁理士、弁護士は大阪大学知的財産センター*の協力によるものです。
（*大阪大学における知的財産法に関する研究と教育を目的とする独立した機関）
- ・弁理士、弁護士には守秘義務が法定されておりますので、ご安心ください。
- ・知的財産について日頃悩んでいること、知的財産の初歩的な疑問でも結構です。
お気軽にお申込みください。

企画 5：臨床現場で困っていることアンケート

我々ドクターは、日常の診療で様々な「困ったこと」に直面します。他の医療従事者も様々な困ったことがあると思います。その解決手段（ソリューション）を考えることは、将来の医療機器の開発につながる重要なプロセスであり、しばしば特許をも産み出す重要な知的活動です。しかし、「困っていること」自体は我々ドクターが日々外科医仲間と共有してきたものであり、知的財産ではありません。より多くの外科医が「困っていること」は、革新的な医療機器で一気に解決できる可能性があ

り、それだけに大きなビジネスにつながる可能性も秘めています。問題は、これら「困っていること」がきちんとスクリーニングされ、整理・管理されていないこと、さらにはこれら「困っていること」を解決できそうな企業にうまく伝えるシステムが整備されていないこと、にあります。そこで日本内視鏡外科学会医工学連携委員会では、「自身が今困っていること」、「他の外科医もおそらく困っていそうなこと」等のアンケート調査を行います。優秀な「困っていること」は、会期中に表彰させていただく予定です。

ただし、具体的なソリューション（を含むもの）は調査の対象外です。知的財産に関わる可能性のあるものは、秘密が守られる「無料知的財産相談会（企画4）」でご相談ください。

応募方法：学会ホームページよりご応募ください。

2. 国際名誉会員記念講演・海外招請講演

<国際名誉会員記念講演>

1. Ralph V. Clayman (University of California, Irvine, Orange, CA, USA)
司会：郡 健二郎（名古屋市立大学）
2. Pradeep Chowbey (Max Healthcare Institute Ltd., New Delhi, India)
司会：坂井 義治（京都大学医学部附属病院消化管外科）

<海外招請講演>

1. Michael Ka Wah Li (Hong Kong SANATORIUM & HOSPITAL, Hong Kong)
司会：北野 正剛（大分大学）
2. Hong-Jin Kim (Yeungnam University Hospital, Daegu, Korea)
司会：田尻 孝（日本医科大学）
3. Koon Ho Rha (Yonsei University, Seoul, Korea)
司会：馬場 志郎（北里大学 名誉教授）
4. Thomas S. Lendvay (University of Washington, Seattle, WA, USA)
司会：東原 英二（杏林大学医学部多発性嚢胞腎研究講座）
5. Gary S. Guthart (Intuitive Surgical, Inc., Sunnyvale, CA, USA)
司会：松本 純夫（国立病院機構東京医療センター 名誉院長）

3. 特別企画

28 th JSES では、特別講演、シンポジウム、ワークショップ、ディベートなどを組み合わせて、一つのテーマを深く掘り下げるための特別企画を構成します。

企画	企画タイトル	セッション	タイトル
特別企画	医工連携：内視鏡手術の技術革新のために	名誉理事長講演	低侵襲・個別化内視鏡手術と医工連携の展開
		特別講演	新しい医療機器の開発とイノベーション教育
		鼎談	日本の未来のための医工連携：内視鏡外科で何ができるか
特別企画	技術革新がもたらす内視鏡手術の進歩	シンポジウム	腹腔鏡／ロボット支援手術におけるイメージナビゲーション
		シンポジウム	蛍光ナビゲーションを用いた内視鏡手術の現状と展望
		ワークショップ	Emerging technology 2D, 3D, 360度視野：手術最適視野は？

特別企画	手術支援ロボットによる内視鏡手術の革新的進歩	シンポジウム	ダビンチに続く手術支援ロボットの開発：世界とわが国の現状と展望
		シンポジウム	ロボット支援手術の新適応：各領域での現状と展望
		ディベート	大腸外科にロボットは必要か
特別企画	Reduced port surgery と単孔式手術の将来展望	ワークショップ	単孔式手術から Reduced port surgery へ：Needlescopic surgery との融合は必然か
		ディベート	単孔式手術か Needlescopic surgery か：低侵襲内視鏡手術の王道は？
特別企画	内視鏡外科のエビデンス構築	シンポジウム	内視鏡外科におけるエビデンスの構築：ビッグデータベースと多施設共同比較試験
		ディベート	内視鏡外科手術のエビデンス：ビッグデータか RCT か
特別企画	高齢者時代の内視鏡手術	特別講演	高齢者の低侵襲手術でいかにゴールを設定し、またリスクを見つけるか
		シンポジウム	高齢者に対する内視鏡外科手術のリスク評価
特別企画	内視鏡外科の技の伝達	特別講演	内視鏡手術におけるキャダバートレーニングの現状と将来展望
		シンポジウム	内視鏡手術のシミュレーショントレーニング：最近の展開とその効用
		ワークショップ	内視鏡外科のこれからの教育：工夫を持ち寄って最善を探る
		ワークショップ	出血に対するベストの対処法：私はこうしている
		パネルディスカッション	内視鏡手術の技術分析：科学的な指導のために

技術認定特別企画

技術認定特別企画	技術認定取得に向けて	特別講演	国民が求める専門医制度とは
		シンポジウム	技術認定に合格するために求められる技：各臓器審査委員長から
		ディベート	技術認定取得に認定施設でのトレーニングは必要か
		パネルディスカッション	われわれはこうして技術認定取得者を育てている

4. 28 th JSES では、内視鏡手術の技術習得のために、「外科医の技 特別企画」として、シリーズを構成します。

外科医の技 特別企画

企画	企画タイトル	セッション	内容
外科医の技特別企画	エキスパートビデオシリーズ 1～17	エキスパートビデオセッション	各領域・臓器の内視鏡手術を、その道のエキスパートが、1 手術 1 時間の無編集ビデオで詳細に示す特別企画
外科医の技特別企画	ピットフォールとその対策シリーズ 1～12	ワークショップ	各領域・臓器の内視鏡手術のピットフォールとその対策をエキスパートが自らの経験に基づいて示す
外科医の技特別企画	ロボット支援手術：術式の標準化シリーズ 1～4	ワークショップ	今取り組まれつつある各領域のロボット支援手術を安全に導入するために術式の標準化を議論する
外科医の技特別企画	手術機器の使い方シリーズ 1～3	ワークショップ	LCS、シーリングディバイス、ソフト凝固など、止血器具の使い方をエキスパートが示す
外科医の技特別企画	内視鏡画像から知る骨盤内解剖	ワークショップ	異なった領域の内視鏡外科医が精緻な内視鏡画像から骨盤内解剖を膜と神経血管に分けて明確に示す

<エキスパートビデオシリーズ>

1. 内視鏡下食道癌手術
大杉 治司（大阪市立大学大学院消化器外科）
 2. 腹腔鏡下肝切除術
若林 剛（上尾中央総合病院）
 3. 腹腔鏡下脾臓十二指腸切除術
本田 五郎（東京都立駒込病院肝胆脾外科）
 4. 腹腔鏡下脾摘除術
赤星 朋比古（九州大学大学院先端医療医学）
 5. 食道胃接合部癌に対するロボット支援手術
宇山 一朗（藤田保健衛生大学上部消化管外科）
 6. 進行胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術
金谷 誠一郎（大阪赤十字病院消化器外科）
 7. 腹腔鏡下結腸右半切除術
大塚 幸喜（岩手医科大学外科学）
 8. 腹腔鏡下直腸低位前方切除
小西 毅（がん研究会有明病院消化器センター外科）
 9. ロボット補助下大腸直腸癌手術
絹笠 祐介（静岡県立静岡がんセンター大腸外科）
 10. 肥満・糖尿病に対する内視鏡手術
笠間 和典（四谷メディカルキューブ減量・糖尿病外科センター）
 11. 内視鏡下鼠径ヘルニア手術
早川 哲史（刈谷豊田総合病院下部消化管・一般外科）
 12. 腹腔鏡下総胆管結石手術
梅澤 昭子（四谷メディカルキューブきずの小さな手術センター）
 13. 腹腔鏡下広汎子宮全摘除術
山下 剛（市立函館病院産婦人科）
 14. 胸腔鏡下肺葉切除術
河野 匡（虎の門病院呼吸器センター外科）
 15. 大きな副腎腫瘍に対する後腹膜到達法による腹腔鏡下副腎摘除術
寺地 敏郎（東海大学医学部泌尿器科）
 16. ロボット補助下腎部分切除術
藤澤 正人（神戸大学大学院腎泌尿器科学分野）
 17. 腹腔鏡下胆道拡張手術（小児症例）
漆原 直人（静岡県立こども病院外科）
5. 予定しているシンポジウム，ワークショップ，パネルディスカッション，ディベートの詳細を下記に記します（3. 4. で掲載した企画も再掲します）。

《領域横断的》

鼎談：

「日本の未来のための医工連携：内視鏡外科で何ができるか」

シンポジウム：

「腹腔鏡／ロボット支援手術におけるイメージナビゲーション」

「蛍光ナビゲーションを用いた内視鏡手術の現状と展望」

「内視鏡外科におけるエビデンスの構築：ビッグデータベースと多施設共同比較試験」

「高齢者に対する内視鏡外科手術のリスク評価」

「ダビンチに続く手術支援ロボットの開発：世界とわが国の現状と展望」

「ロボット支援手術の新適応：各領域での現状と展望」

「ロボット支援手術保険適用へのロードマップ」

「内視鏡手術のシミュレーショントレーニング：最近の展開とその効用」

「技術認定に合格するために求められる技：各臓器審査委員長から」

「医療事故調査制度は現場の医療を守れるか？」

「内視鏡外科／ロボット支援手術における安全管理：メディカルスタッフを含む合同シンポジウム」

ワークショップ：

「Emerging technology 2 D, 3 D, 360度視野：手術最適視野は？」

「単孔式手術から Reduced port surgery へ：Needlescopic surgery との融合は必然か」

「腹腔内視鏡治療と腹腔鏡手術のコラボレーションをいかに行うか？」

「膨潤腹腔鏡手術の手技と利点」

「内視鏡外科のこれからの教育：工夫を持ち寄って最善を探る」

「内視鏡画像から知る骨盤内解剖」

「出血に対するベストの対処法：私はこうしている」

「誰も教えてくれない手術機器のうまい使い方：①LCS」

「誰も教えてくれない手術機器のうまい使い方：②シーリングデバイス」

「誰も教えてくれない手術機器のうまい使い方：③ソフト凝固」

「実臓器の部分切除術の要点：腎・肝・膵領域から」

ディベート：

「内視鏡外科手術のエビデンス：ビッグデータか RCT か」

「単孔式手術か Needlescopic surgery か：低侵襲内視鏡手術の王道は？」

「ロボット支援手術は保険適用とすべきか」

「大腸外科にロボットは必要か」

「技術認定取得に認定施設でのトレーニングは必要か」

「ダイヤモンド型配置 (Co axis) かパラレル型配置 (Off axis) か」

「尿管管遺残摘除術は臍部からか側腹部からか」

パネルディスカッション：

「内視鏡手術における ERAS の効用」

「内視鏡手術の技術分析：科学的な指導のために」

「実臓器モデルの内視鏡手術への活用」

「われわれはこうして技術認定取得者を育てている」

「医療経済を考慮した内視鏡外科手術の要点：各施設での工夫」

「腹腔鏡／ロボット支援手術における骨盤内リンパ節郭清の要点」

「骨盤臓器脱に対する腹腔鏡手術：適応と成績」

《食道》

シンポジウム：

「食道癌への内視鏡外科手術を評価する：低侵襲性と長期成績」

「縦隔解剖の理解と食道癌手術への feedback」

ワークショップ：

「内視鏡下食道手術のピットフォールとその対策」

「食道良性疾患に対する内視鏡外科手術の手技と治療成績」

ディベート：

「食道がんに対する内視鏡外科手術：仰臥位 vs 腹臥位」

パネルディスカッション：

「食道再建：腹腔鏡下胃管作成の工夫」

《胃》

シンポジウム：

「腹腔鏡下胃全摘後の再建：安全性を飛躍させるために」

「手術支援ロボットがもたらす新たな胃癌手術」

「食道胃接合部癌に対する内視鏡外科手術：精密なリンパ節郭清そして安全かつ後遺症が少ない再建」

ワークショップ：

「腹腔鏡下胃全摘のピットフォールとその対策」

「ロボット支援胃癌手術における術式の標準化：安全な導入に向けて」

「胃粘膜下腫瘍に対する臓器温存低侵襲外科治療」

「胃癌に対する Reduced Port Surgery」

ディベート：

「腹腔鏡下噴門側胃切除後の再建：ベストな再建方法はどれか」

「胃粘膜下腫瘍に対する内視鏡外科手術：ベストなアプローチ」

「腹腔鏡下胃癌リンパ節郭清におけるアプローチ方法」

パネルディスカッション：

「上部進行胃癌に対する腹腔鏡手術：解剖とエビデンスに基づいたリンパ節郭清」

「腹腔鏡下幽門保存胃切除：究極の機能温存手術への飛躍」

「腹腔鏡下噴門側胃切除後の再建：革新を目指して」

「腹腔鏡下胃切除：視野展開の工夫」

《大腸》

シンポジウム：

「進行大腸癌に対する腹腔鏡手術の長期成績」

「大腸癌の reduced port surgery」

「肛門管周囲外科解剖にもとづく下部直腸癌手術（ビデオシンポジウム）」

ワークショップ：

- 「ロボット補助大腸手術の標準化：安全な導入に向けて」
- 「腹腔鏡下マイルズ手術：ランドマークを明らかにする 腹腔側からどこまで攻める」
- 「腹腔鏡下側方郭清のピットフォールとその対策」
- 「大腸全摘・回腸肛門吻合術における内視鏡手術：更なる質の改善へ」

ディベート：

- 「腹腔鏡下低位前方切除術における縫合不全予防策 ストミー vs 肛門管ドレーン」
- 「大腸癌に対する単孔式 vs Laparoscopic surgery」
- 「進行直腸癌に対する側方郭清 OPEN vs LAP」
- 「肛門近傍直腸癌に対する肛門温存手術 腹腔アプローチ先行 vs 肛門アプローチ先行」

パネルディスカッション：

- 「癒着性腸閉塞に腹腔鏡手術は有用か？」
- 「横行結腸癌に対する手技の定型化は可能か？」
- 「大腸穿孔に対する腹腔鏡手術」

《胆嚢》

シンポジウム：

- 「胆嚢癌、胆道癌に対する腹腔鏡手術：適応と成績」

ワークショップ：

- 「腹腔鏡下総胆管結石手術のピットフォールとその対策」

パネルディスカッション：

- 「急性胆嚢炎の腹腔鏡下胆嚢摘出術」
- 「単孔式胆嚢摘出術の適応基準」

《肝臓》

シンポジウム：

- 「腹腔鏡下肝切除術：肝硬変症例への適応拡大」
- 「肝臓移植における内視鏡手術の適応とその役割」

ワークショップ：

- 「肝頭側腫瘍（S7, S8）に対する腹腔鏡下肝切除術における工夫」
- 「腹腔鏡下肝切除における止血法の工夫：最適な方法を求めて」
- 「腹腔鏡下肝切除手術のピットフォールとその対策」

ディベート：

- 「肝頭側腫瘍（S7, S8）に対するアプローチ：腹腔鏡下肝部分切除 vs 開腹肝切除」

パネルディスカッション：

- 「腹腔鏡下肝部分切除を究める」
- 「腹腔鏡下肝切除術に用いるエネルギーデバイスの工夫」

《脾臓》

シンポジウム：

- 「腹腔鏡下脾切除術：安全な術式の定型化を目指して」

ワークショップ：

「腹腔鏡手術における安全確実な脾消化管吻合術：完全腹腔鏡から小開腹まで」

「腹腔鏡下脾切除術のピットフォールとその対策」

「腹腔鏡下脾臓摘出術のピットフォールとその対策」

《小児》

シンポジウム：

「小児内視鏡外科の先駆者に聞く「どうやって技術を取得したか」」

ワークショップ：

「腹腔鏡下鎖肛根治術のピットフォールとその対策」

「小児外科領域における simulator. lab の現状と役割」

ディベート：

「先天性横隔膜疾患に対する治療：胸腔鏡 vs 腹腔鏡」

パネルディスカッション：

「小児腹腔鏡下虫垂切除術の標準術式は」

「小児内視鏡外科手術における合併症の検討」

「乳児・小児における胸腔鏡下肺切除術：私の工夫」

《肥満》

シンポジウム：

「肥満・糖尿病治療の飛躍に向けて：内科・外科医の技の癒合」

ワークショップ：

「減量手術のピットフォールとその対策」

「Bariatric and Metabolic Surgery の現状」

ディベート：

「日本で減量手術は普及するか」

パネルディスカッション：

「腹腔鏡下スリーブ状胃切除：各施設の手技と工夫」

《ヘルニア》

シンポジウム：

「腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術の標準化を目指して」

「腹腔鏡下腹壁癒着ヘルニア手術の標準化を目指して」

ワークショップ：

「鼠径ヘルニアに対する Reduced Port Surgery」

パネルディスカッション：

「腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術：困難症例への挑戦」

《産婦人科》

シンポジウム：

「子宮頸癌に対する腹腔鏡手術の導入」

「腹腔鏡手術の教育とトレーニング法」

ワークショップ：

「婦人科ロボット支援手術における術式の標準化：安全な導入に向けて」

「腹腔鏡下骨盤内リンパ節郭清のピットフォールとその対策」

ディベート：

「全腹腔鏡下子宮全摘術において尿管分離同定は必要か」

「腹腔鏡下子宮筋腫核出術における筋腫核の安全な搬出法：経膈搬出 vs 臍部より搬出 vs モルセレーター」

パネルディスカッション：

「重症子宮内膜症に対する腹腔鏡手術」

《泌尿器科》

シンポジウム：

「ロボット支援前立腺全摘除術後の尿禁制」

ワークショップ：

「ロボット支援前立腺全摘除術のピットフォールとその対策」

「ロボット支援腎部分切除手術における術式の標準化：安全な導入に向けて」

「ロボット支援前立腺全摘除術における膀胱頸部処理：最善の指導方法を考える」

「ロボット支援 / 腹腔鏡下膀胱全摘除術における問題点と対策」

ディベート：

「小径腎細胞がんの治療戦略：凍結療法 vs 部分切除」

「ロボット支援 / 腹腔鏡下膀胱全摘除術の尿路変向：腔外 vs 腔内」

パネルディスカッション：

「腎・副腎に対する単孔式腹腔鏡手術」

《呼吸器》

シンポジウム：

「肺癌に対する完全胸腔鏡下肺葉切除術の遠隔成績」

「完全胸腔鏡下肺葉切除術の教育システム：現状と将来」

ワークショップ：

「完全内視鏡下胸腔鏡手術による肺区域切除のピットフォールとその対策」

パネルディスカッション：

「胸腺腫瘍に対するロボティック手術の適応と将来」

「単孔式胸腔鏡手術の適応と限界」

《整形外科・内分泌》

シンポジウム：

「内視鏡脊椎手術の水中手術と空中手術の功罪」

ワークショップ：

「内視鏡下甲状腺・副甲状腺手術の到達法はどのアプローチがベストか」

ディベート：

「甲状腺に対する内視鏡手術：内視鏡補助下手術か完全内視鏡下手術か」

《要望演題》

- ・研修医・専修医による腹腔鏡下胆嚢摘除術ビデオ（15分）
優秀演題には「優秀 Young Video 賞」を授与する予定です。
- ・研修医・専修医によるリンパ節郭清術ビデオ（15分）
優秀演題には「優秀 Young Video 賞」を授与する予定です。
- ・内視鏡外科手術／ロボット支援手術におけるメディカルスタッフの役割
優秀演題には「優秀 Medical Staff 賞」を授与する予定です。

※ホームページにて随時情報を更新いたします。 <http://www.congre.co.jp/jses2015/>

問合せ先：第28回日本内視鏡外科学会総会 大会事務局

事務局長：木下 秀文

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

関西医科大学腎泌尿器外科学講座

Tel：072-804-0101 Fax：072-804-2068

第28回日本内視鏡外科学会総会 運営事務局

〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-13 株式会社コングレ内

Tel：06-6229-2555 Fax：06-6229-2556

E-mail：jses2015@congre.co.jp